

別表第1 参考項目

26 規則別表第1の16の項に掲げる事業（以下「レクリエーション施設建設事業」という。）

環境要素の区分 (細区分)	影響要因の区分 (細区分)			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用			
				建設機械の稼働	いる車両の運行 資材及び機械の運搬に用	造的な影響 造成等の施工による一時	地形改変及び施設の存在	施設の供用	の走行 施設利用者による自動車	
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	窒素酸化物	○	○				○	
			粉じん等	○	○				○	
		騒音	騒音	○	○				○	○
			振動	振動	○	○				○
	水環境	水質	水の濁り			○				
			水の汚れ						○	
			富栄養化						○	
			有害物質等						○	
	土壌に係る環境 その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○			
	評価されるべき環境要素 旨として調査、予測及び 自然環境の体系的保全を 生物の多様性の確保及び	動物	重要な種及び注目すべき 生息地	○	○	○	○			
植物		重要な種及び群落			○	○				
生態系		地域を特徴づける生態系	○	○	○	○				
べき環境要素 査、予測及び評価される 合いの確保を旨として調 人と自然との豊かな触れ	景観	主要な眺望点及び景観資 源並びに主要な眺望景観				○				
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ 合いの活動の場		○		○		○		
るべき環境要素 により予測及び評価され 環境への負荷の量の程度	廃棄物等	廃棄物			○			○		
		建設工事に伴う副産物			○					
要素 び評価されるべき環境 質について調査、予測及 一般環境中の放射性物	放射線の量		○ ※	○ ※	○ ※					
備考										
<p>1 ○印は、各欄に掲げる環境要素が、影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。</p> <p>2 この表における「影響要因の区分」は、次に掲げるレクリエーション施設建設事業における一般的な事業の内容を踏まえて区分したものである。</p> <p>ア 建設機械を稼働し、造成工事を行う。</p> <p>イ 車両により、工事に伴う資材及び機械の運搬を行う。</p> <p>ウ 造成等の施工として、樹木の伐採等、掘削、地盤改良、盛土等による敷地、搬入道路の造成、整地を行う。</p> <p>エ 地形改変及び施設の存在として、地形改変等を実施し建設されたレクリエーション施設を有する。</p> <p>オ 工事の完了後、レクリエーション施設として利用される。</p> <p>カ 施設を利用するための車両の通行がある。</p>										